

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 31 日

事務事業名	報道機関連絡事業		事業区分		担当
			新規/継続	新規	事務事業No. 060101000946
			単独/補助	単独	010101
政策体系	総合計画の施策名	0601 市民協働のまちづくり	主要事業		所属課 秘書広報課
	政策名	06 みんなで築く自治のまちづくり	市長マニフェスト		
	施策名	01 市民協働のまちづくり	未来PJ事業		グループ 秘書広報G
	手段名	01 ①広報広聴の充実	合併建設計画事業		
	財務会計上の位置付け		事業期間		
予算科目	会計	款	項	目	事業細
	01	02	01	04	01 00
					一般会計
					広報広聴事業
法令根拠	桜川市報道機関連絡マニュアル		単年度繰返し (平成28年度～)		
			← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

手段	(1) 事務事業の概要	
	① 事務事業の概要(事務事業の全体像) ・「桜川市報道機関連絡マニュアル」に基づき、報道機関からの取材依頼の取次・協議・調整を一元的に管理する。 ・プレスリリースを通じて、市からの情報発信を行う。 ・市のPRに繋げる。	② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・「桜川市報道機関連絡マニュアル」に基づき、報道機関からの取材依頼の取次・協議・調整を一元的に管理する。 ・プレスリリースの情報収集・作成・校正・情報発信を行う。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

① 手段 (担当者の活動内容)	④ 活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・「桜川市報道機関連絡マニュアル」に基づき、報道機関からの取材依頼の取次・協議・調整を一元的に管理する。 ・プレスリリースの情報収集・作成・校正・情報発信を行う。	取材依頼件数	件	10.00	14.00	20.00	20.00	20.00
	プレスリリース依頼件数	件	54.00	55.00	60.00	60.00	60.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
報道機関	取材取次件数	件	10.00	14.00	20.00	20.00	20.00
	プレスリリース発信件数	件	54.00	55.00	60.00	60.00	60.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市のPRに繋がります。	報道件数	件	10.00	14.00	20.00	20.00	0.00
	プレスリリース掲載件数	件	40.00	40.00	45.00	45.00	45.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	内訳	単位	28年度	29年度	30年度	期間限定総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	
	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		
	述べ業務時間	時間	157.30	160.00	165.00		
	人件費計(B)	千円	460	468	483		
トータルコスト(A)+(B)			千円	460	468	483	

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)		30年度事業費 予算 (千円)	
	合計	0	合計	0

(4) 当該年度の実施内容

30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 		

事務事業名	報道機関連絡事業	事務事業No.	60101000946	所属課	秘書広報課
-------	----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成28年1月放送の情報番組での放送内容が発端となり、情報の一元化を図ることを目的に平成28年度から開始されるものです。		
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 平成28年第1回桜川市市議会定例会で情報の一元化の意見が寄せられました。		
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">改革改善を行う</td> <td>平成28年度から開始した事業であり現時点では手探りの状況であるため、課題点を把握し、適宜に改革・改善を行い成果を向上させることが必要と思われます。</td> </tr> </table>	改革改善を行う	平成28年度から開始した事業であり現時点では手探りの状況であるため、課題点を把握し、適宜に改革・改善を行い成果を向上させることが必要と思われます。
改革改善を行う	平成28年度から開始した事業であり現時点では手探りの状況であるため、課題点を把握し、適宜に改革・改善を行い成果を向上させることが必要と思われます。	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている プレスリリースを通じて市からの情報発信を行うこと、報道機関からの取材依頼等を一元的に管理することは、市のPRに繋げることであり、広報広聴の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市のPRに繋がりますことであり、市が行うことは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない プレスリリースや取材依頼等を通じて、市の情報を効率的に発信しており、向上の余地はありません。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 報道機関を通じての市のPRが出来なくなります。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業はなく、統廃合・連携は出来ません。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は計上してありません。人件費は広報担当者の2名で行っているため、削減の余地はございません。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市の情報発信や取材対応の事業であるため、公平・公正です。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 <table border="0"> <tr> <td>①目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>②有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成28年10月1日に「桜川市報道機関連絡マニュアル」を作成し、全職員に周知を図りました。また、第2回目の広報主任勉強会において、各課の広報主任に説明を行いました。H29年度の広報主任勉強会																	
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性 <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 </td> <td rowspan="2"> (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる </td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 連携ができる </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 連携ができる	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持				(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止																													
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持		○																											
	低下																													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																														
(6) 事務事業優先度評価結果 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td></td> </tr> </table>		成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																										
成果優先度評価結果																														
コスト削減優先度評価結果																														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) <input type="checkbox"/> 確認欄
---	--